

## 第 4 学年 算数科学習指導案

指導者 竜ヶ崎市立久保台小学校 上野美奈子

研究主題	長さの量感を養い，単位や計器を正しく選択して測定する力をつける指導を考える。
------	--

### 1 題 材 長さ

### 2 研修主題について

長さの学習で大切なことは，長さの量感を児童が持てるようにすることである。

1 km=1000m, 1m=100cm のような長さの単位の知識だけではなく，その長さがどのくらいなのか，イメージできなければならない。なぜなら，長さの量感を持つことによって，適切な単位や計器を正しく選択して測定することができるようになるからである。従って，長さを測定するときには，見当をつけてから実測するという習慣をつけさせることが大切である。また，見当をつけることは，長さの測定や長さの和・差を求めるときに，大きなあやまりを防ぐことにつながることから大切である。

本題材では，いろいろなものの長さを，必ず見積もりを出してから実測するという活動を通して，長さの量感を習得することをねらいとしている。また，1m や 10cm など，基準となる長さは，自分の体の一部（腕・指など）で表すとどのくらいなのかを知ることで，見当をつける上での基準になるように指導していきたい。

### 3 目 標

測定するものによって単位や計器を正しく選択して，測定することができる。

### 4 指導計画（8時間）

第1次 長さの単位（km,m,dm,mm）を使っての長さの測定・・・・・・・・・・ 4時間（本時1 / 4）

第2次 長さの単位（la pulgada,el pie,la yarda）を使っての長さの測定・・ 3時間

第3次 曲線の測定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

5 本時の指導

(1) 目標

測定するものによって単位や計器をを正しく選択して、測定することができる。

(2) 本時の展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 長さの内容の既習事項を復習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1km=1000m    ・ 1m=10dm=100cm</li> <li>・ 1dm=10cm    ・ 1cm=10mm</li> </ul> <p>2 長さを測るときの注意点を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象の長さの見当をしてから、適した計器で測定する。</li> <li>・ 計器の0のめもりを、測る部分の一方のしにあてる。</li> <li>・ 対象にまっすぐ計器を充てて、測る。</li> </ul> <p>3 グループになって、教室にあるいろいろなものの長さを見当してから、実測する。</p> <p>4 実測した結果を発表する。</p> <p>5 練習問題をする。            (    )に、あてはまる長さの単位を入れよう。            ラクダのしっぽの長さ：57 (    )            エジプトのピラミッドの高さ：137 (    )            ありのからだの長さ：6 (    )            テグシガルパとサンペドロスーラの距離：252 (    )</p>	<p>1 m や 1 0 cm の長さはどれくらいか、量感を確かめるために、腕や指などの体の部分を使って表してみる。            1 m 前後の長さのテープを見せて、長さはどのくらいか当てるゲームをしながら、見当のつけ方を練習する。</p> <p>対象によって、どの計器を使えばよいか考えさせる。            わざと、0にめもりを合わせなかったり、対象に対して計器をまっすぐあてなかったりして、誤りに気付かせ、正しい測定の仕方を確認する。</p> <p>定規か 1 m のリボンを選んで測定する。            測定結果を記入する表を各グループに渡す。            必ず測定する前に、見当した数値を記入することを伝える。            1 m 以上の長さを測るときは、同じグループの人のリボンを繋げて測定していいことを伝える。</p> <p>掲示用の大きな表を用意し、実測結果を各グループに記入してもらい、全員が各グループの結果を見ることができるようにする。</p>